

令和6年度

まちづくり活動助成

公開審査会資料



令和6年6月22日(土)区役所西棟6階第5・6会議室

杉並区都市整備部管理課

杉並区まちづくり助成（令和6年度）公開審査会プログラム

【日時】令和6年6月22日（土） 10:00～12:30

【場所】杉並区役所 西棟6階 第5・6会議室

◆ 開会のあいさつ 10:00

◆ まちづくりセミナー（びぎなーコース・セミナー）

進行 杉並区まちづくり活動団体助成専門アドバイザー

奥村 玄氏・松本 博行氏・三浦 春菜氏

◆ 公開審査会 10:50

◇ 審査会の進め方説明

◇ 応募グループの活動計画発表（発表8分・質疑応答7分）

	団体名	発表開始予定時間	資料ページ
①	community plus	11:00	1～4
②	すぎなみ発見クラブ	11:15	5～10
③	軒先から、こんにちは実行委員会	11:30	11～16
④	いぐさの赤い椅子	11:45	17～21

◇ 審査

◇ 審査結果の発表 12:20

◇ 講評

杉並区まちづくり活動団体助成専門アドバイザー

奥村 玄氏・松本 博行氏・三浦 春菜氏

◆ 閉会のあいさつ 12:30

※進行状況により開始時刻等前後することがございます。あらかじめご了承ください。

杉並区 都市整備部 管理課

杉並区阿佐谷南 1-15-1 Tel. 03- 3312- 2111（内線 3503）

令和 6 年 5 月 27 日

杉並区長 宛

代表者

氏名 住吉 ひろみ

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	community plus
事 業 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ すてらびコース じゃんびコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	①杉並区内の子連れで利用しやすい飲食店情報や公園やイベントの紹介など、杉並区内の子育て世帯がもっと子育てを楽しめるように応援する地域密着型インスタグラム「すぎまば」の運営 ②善福寺川緑地・和田堀公園への地域コミュニティ拠点建設の機運の醸成に向けた利用者アンケートの実施および地元の多世代・他団体と連携したイベントの企画運営
事業に要する総費用 予定額	7万円
助成金交付申請額	7万円
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。) (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書 (5) その他 ()

構成員の名簿

団体名称 及び 事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	ふりがな こみゆにてい ぶらす 名称 community plus		
	事務所 〒	Tel.	
	所在地	Fax.	
代表者	ふりがな すみよし ひろみ 氏名 住吉 ひろみ		
	住所* 〒	Tel. *	
	メールアドレス*		
連絡先 ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏名		
	住所* 〒	Tel. *	
	メールアドレス*		
活動メンバー ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。 ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等*
	住吉 ひろみ	代表	
	遠藤 美穂	会計	
	岡 志津		
	小松田 恵		
	小林 泰子		
	内野 美希		
	松田 共代		
	住吉 翔太		
柴田 亮子			
メンバー以外 の協力員等	佐野 奈々 (ファーストサイン&ベビーマッサージ講師、看護師)		
	にじのいるか保育園杉並松の木、Pico ナーサリ和田堀公園 ほか		

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。

*印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
杉並区まちづくり助成金	70,000円
合計	70,000円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費	講師等謝礼金	10,000円	20,000円
	会場使用料	6,000円	
	資料印刷費	4,000円	
(2) 広報活動費	チラシ作成・印刷費	20,000円	20,000円
(3) 事務運営・ 事業実施費	撮影サンプル代	30,000円	30,000円
合 計			70,000円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
- 事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

活動内容	<p>※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。</p> <p>・公式インスタグラム「すぎまば」の運営</p> <p>杉並区内の子育て世帯を応援するため、区内及び近郊の子連れで利用しやすい飲食店や公園、イベント情報などを取材し、記事を作成し、投稿する。ライターや団体メンバーを公募し、コンテンツの充実を図るとともに、より活発に活動が続けられる団体の体制充実を目指す。</p> <p>・地元の多世代・他団体と連携したイベントの企画運営</p> <p>杉並区のまちづくりコンサルタント派遣事業を活用してアドバイスをいただきながら、多世代、他団体と連携したイベントを企画運営し、善福寺川緑地の地域コミュニティ拠点建設の機運醸成を図る。善福寺川緑地等への利用者アンケートを継続し、結果をもとに、関係各所区政、都政への提案を行う。</p>
活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
時 期	活 動 内 容
令和6年4月	まちづくりコンサルタントとの初回面談。町会協力のもと、善福寺川緑地で初開催された「春らんまん祭」でのアンケート実施。公式 SNS での発信
5月	公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
6月	まちづくりコンサルタント面談。公式 SNS のライター公募。公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
7月	公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
8月	まちづくりコンサルタント面談、公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
9月	公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
10月	成田東エリアの地域イベント「軒先からこんにちは」出店 公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
11月	善福寺川緑地・和田堀公園等での多世代イベント実施（仮） 公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
12月	公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
令和7年1月	まちづくりコンサルタント面談 公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
2月	公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり
3月	公式 SNS での発信、関係各所、他団体との関係づくり

令和6年5月24日

杉並区長 宛

代表者

氏名 千ヶ崎 恵美子

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	すぎなみ発見クラブ
事 業 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ ○すてっぴコース じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	<p>●助成金の使用目的 主に健康食マップの作成費、広報活動費（フリーペーパー等の制作費）、勉強会等の開催費用</p> <p>●事業内容 杉並区民の健康意識を高め、病気や精神疾患の原因の一つである食と健康に関する啓蒙活動を行うため、健康食マップの作成、フリーペーパーの発行、料理教室の開催、映画上映会などを実施。また、杉並や日本の文化について、ワクワクするような情報発信や勉強会を開催。その他にも、メンバーが考える杉並区民の健康と明るい生活のための活動を様々な分野で行っていく。</p>
事業に要する総費用 予定額	7万円
助成金交付申請額	7万円
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日（協議会助成金のみ記入してください。）
添付書類	<p>(1) 規約・会則（びぎなーコースのみ提出してください。）</p> <p>(2) 構成員の名簿</p> <p>(3) 収支予算書</p> <p>(4) 事業予定書</p>

構成員の名簿

団体名称 及び	ふりがな 名称 すぎなみ発見クラブ		
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	〒 所在地	Tel. Fax.
代表者	ふりがな 氏名 千ヶ崎 恵美子		
	住所*	Tel. *	
メールアドレス*			
連絡先 ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏名		
	住所* 〒	Tel. *	
メールアドレス*			
活動メンバー ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。 ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等*
	千ヶ崎 恵美子	代表	
	藤田 弦	副代表	
	南 美保子	副代表	
	足立 貴代子	会計	
	山崎 美津留		
	斉藤 嘉代		
	西口 直美		
	市橋 礼子		
メンバー以外 の協力員等	友人・知人関係で、5名程度		

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。
*印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
会 費	
杉並区まちづくり助成金	70,000円
他からの助成金	
合 計	70,000円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費	勉強会等の会場費	7,000円	7,000円
(2) 広報活動費	健康レストラン・マップ印刷費 すぎなみ発見クラブ通信印刷費	10,000円 50,000円	60,000円
(3) 事務運営・ 事業実施費	事業実施費(備品・消耗品などの 購入費)	3,000円	3,000円
	合 計		70,000円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

活動内容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
<p>1. 杉並健康食マップ（レストラン編）の作成・普及活動</p>	<p>昨年度は杉並区内の「自然食&オーガニック・マップ（お店編）」を制作、その普及活動により、区内のオーガニックや自然食のお店を応援することで、区民の健康増進に務めて来ました。その活動の過程で、「普段は健康に気を使って自炊をしているが、外食する時に安心してできるお店が中々見つからない」というお声もいただきました。そこで今年度は健康食マップのレストラン編を作成いたします。こうした活動を通じて、農薬や化学物質等に依存しない食のあり方を啓蒙し、区民の健康のサポートをより推進してまいります。</p>
<p>2. フリーペーパー「すぎなみ発見クラブ通信」の発行</p>	<p>昨年度は2号の通信を発行し、杉並区内の自然食品店などの取材を通じて、食と健康についての考え方を発信するとともに、健康情報や杉並の文化・歴史に関する情報など、会員が独自に学び、発見した情報を発信して参りました。今年度も引き続き、杉並区民の食を守るお店の紹介や、区民の健康と幸福に役立つ情報を発信してまいります。</p>
<p>3. 料理教室の開催</p>	<p>昨年度非常に好評だった米粉や生米を使ったパン教室、シフォンケーキ教室では、アレルギーなどの健康の悩みを持った区民の方々にご参加いただきました。単なる料理教室の枠を超えて、参加者同士の情報交換の場としても有意義な活動となりました。参加者からは「とても勉強になりました」「とても楽しかったです！」とのお声を沢山いただき、また「料理教室以外のイベントも開催して欲しい」「もっと話がしたい、話を聞きたい」という要望も少なくありませんでした。区民の健康意識の高まりを感じる一方で、そういう方々が必ずしも周囲の理解を得られておらず、話せる仲間を求めている現状も把握できました。今年度は、参加者の要望に答えるべく、パン教室以外の料理教室の開催や、区内の健康食レストランでの茶話会なども企画し、食と健康に関する情報を広めるとともに、より良い交流の場を提供してまいります。</p>
<p>4. 自主上映会の開催</p>	<p>現代の日本人は、身体の病気の増加に加えて、10代～30代の死因の第1位が自殺という、精神的にも深刻な病が広がっています。そういった人々が大切なものを取り戻し、元気になるような映画の上映会を企画します。具体的には、「食とは何か、健康とは何か」をテーマにした、食と健康に関するドキュメンタリー映画や、自信を失っている現代の日本人が、希望を取り戻せるようなドキュメンタリー映画を上映し、杉並区民の郷土愛や自己愛を育む活動をしてまいります。（映画はこれから選定）</p>
<p>5. 勉強会の開催</p>	<p>食と健康、杉並の歴史や文化に関する勉強会を開催します。特に近年注目を集めている縄文時代についての座学や、縄文遺跡が多い杉並区ならではの縄文ウォーキングと言ったフィールドワークも出来たらと考えています。近年の驚くべき縄文の考古学的発見を私たちが学ぶことは、若い世代に日本人としての自信と希望を与えることになると考えています。</p>
<p>6. 日本の農家さん、有機農業の応援による、食の知識の習得と普及</p>	<p>昨年度に引き続き、機会があれば積極的に援農を実施し農家さんと繋がることで、食と健康についての情報収集と情報発信を行なってまいります。</p>

活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
時 期	活 動 内 容
令和6年4月	健康食の料理教室の開催
5月	健康食の料理教室の開催 援農（田植え）
6月	「すぎなみ発見クラブ通信」Vol.3 制作 健康食の料理教室の開催、マップの普及活動
7月	健康食の料理教室の開催 マップの普及活動
8月	「健康レストラン・マップ」の制作 縄文勉強会の開催
9月	映画自主上映会 健康食の料理教室の開催、マップの普及活動 援農（稲刈り・野菜の収穫など）
10月	「すぎなみ発見クラブ通信」Vol.4 制作 健康食の料理教室の開催、マップの普及活動
11月	縄文勉強会（フィールドワーク）の開催 健康食の料理教室の開催、マップの普及活動
12月	オーガニック・レストランでの茶話会 マップの普及活動
令和7年1月	映画自主上映会 健康食の料理教室の開催、マップの普及活動
2月	「すぎなみ発見クラブ通信」Vol.5 制作 健康食の料理教室の開催、マップの普及活動
3月	健康食の料理教室の開催、マップの普及活動 今年度の振り返りと、次年度の活動計画の策定

令和6年5月31日

杉並区長 宛

代表者

氏名 山田 杏子

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団体名	軒先から、こんにちは実行委員会
	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎな一コース ・ ○すてっぷコース じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	【目的】 1. 住民が地域コミュニティへ自発的に参加する風土の醸成 2. 近隣に住む人達との緩やかなつながりが生まれることで、地域の防犯・防災面に寄与 3. 自分たちの住むまちの魅力を再発見し、住民のまちへの愛着を深める 【内容】 1. 住民参加型イベント「軒先から、こんにちは ナリタヒガシ」の開催 2. 上記イベント開催に向けた住民参加型「寄り合い」の開催
事業に要する総費用 予定額	¥70,000
助成金交付申請額	¥70,000
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日(協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	(1) 規約・会則 (びぎな一コースのみ提出してください。) (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書 (5) その他(事業計画書別紙)

構成員の名簿

団体名称 及び 事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	ふりがな のきさき じっこういんかい 名称 軒先から、こんにちは実行委員会		
	事務所 〒	Tel.	
	所在地	Fax.	
代表者	ふりがな やまだ きょうこ 氏名 山田 杏子		
	住所 *	Tel. *	
	メールアドレス *		
連絡先 ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏名		
	住所 * 〒	Tel. *	
	メールアドレス *		
活動メンバー ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。 ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等 *
	山田 杏子	代表者	
	松岡 徹也	副代表	
	内藤 徹	副代表	
	古田 伸弥	会 計	
	松岡 久子		
	山田 慎平		
メンバー以外 の協力員等			

《注意》すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。

* 印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収入》

内 訳	金 額
会 費	0円
杉並区まちづくり助成金	70,000円
他からの助成金	0円
合計	70,000円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費	【寄り合い】企画運営 ・講師謝礼: 1-2回程度	15,000円	15,000円
(2) 広報活動費	住民参加型イベント【軒先から、 こんにちは】企画運営 ・製本印刷費: 出展説明会資料 出展者配布ポスター等 <u>告知強化用チラシ・旗等</u>	25,000円	25,000円
(3) 事務運営・ 事業実施費	住民参加型イベント【軒先から、 こんにちは】企画運営 ・報償費: ノベルティ制作費 6,000円 ・保険料: ボランティア保険 2,000円 ・消耗品費: 事務用品 5,000円 ・製本印刷費: <u>スタンプラリー台紙</u> (両面仕様に変更予定)	17,000円 6,000円 2,000円 5,000円	30,000円
※下線が2023年度から広げたい活動によるもの(予定)			70,000円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費: 講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費: パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費: 団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
事業実施費: 事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
以下2企画の実施を通して、町内会との連携強化による <u>地元住民への本活動の認知度向上</u> を図り、住民のイベント等への参加や出展につなげることで、関わる人を増やす年にしたい。	
1.住民参加型イベント【軒先から、こんにちは】	
開催： <u>2024年10月6日(日) 11:00-16:00(予定)</u> / 開催場所：杉並区成田東周辺	
開催内容：出展者の軒先等でのフリマ・ワークショップ等、各所を巡るスタンプラリー	
参加者数(目標)： <u>出展22組、来場者250人程度と、顔の見える規模感での定着を目指す。</u>	
※2023年度実績：出展22組(新規5、経験者17/成田東事業者7、区内活動6、住民等個人9)、来場約200人	
2.【寄り合い】 内容：軒先イベントの事前打合せ、地域に関するフリートークの場(※)	
(※)テーマ「成田東のおすすめスポット」「実行委員による裏話」など	
活動スケジュール (活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。)	
令和6年4月	寄り合い①「今年のイベント計画(方針・日程検討)」
5月	寄り合い② 成三・成二町会 主催イベント「春らんまん祭」視察
6月	寄り合い③「今年のイベント計画(実施概要決定)」
7月	寄り合い④「今年のイベント計画(イベント当日運営詳細)」
8月	告知開始
9月	寄り合い⑤「出展説明会」
10月	軒先から、こんにちは ナリタヒガシvol.4 開催 寄り合い⑥「軒先イベント公開反省会 実行委員による裏話(仮称)」
11月	—
12月	—
令和7年1月	寄り合い⑦「振り返り・次年度目標検討会」
2月	—
3月	—

(事業計画書別紙)※下線が2023年度から広げたい活動によるもの(予定)

【活動目的】

1. 住民が地域コミュニティへ自発的に参加する風土の醸成
2. 近隣に住む人達との緩やかなつながりが生まれることで、地域の防犯・防災面に寄与
3. 自分たちの住むまちの魅力を再発見し、住民のまちへの愛着を深める

【主な活動内容】

1. 住民参加型イベント「軒先から、こんにちは ナリタヒガシ」の開催
2. 上記イベント開催に向けた住民参加型「寄り合い」の開催



軒先イベント2023での一コマ。スタンプラリーには多くの子どもたちや大人も参加。パブリックとプライベートの境界「軒先」を開放し、ワークショップ・フリマ等を開催。
※メイン会場・運営本部「いんにつさん(シェアオフィス、レンタルスペース)」



軒先イベントの出展者は地域住民、店舗に加え、開催地域内の杉並区立成田図書館も参画(2022年~)。出展者募集やイベント開催告知については近隣幼稚園・保育園等にて掲示等ご協力実績もある。まだ成田東エリア内でのイベント認知度に課題があるため、以下に取り組むことで、地域住民の参加や出展につなげていく。

- ・早期に開催日を決定し、告知チラシ制作に着手。
- ・町内会(東一会・東二会・成三会等)掲示板掲出等についてご協力依頼。
- ・軒先イベント当日はポスターの他フラッグ掲出等を検討。

また、イベント当日はまちの魅力再発見につながるよう、各軒先に行きたくなるような出展紹介をスタンプラリー台紙裏面に印刷することを検討していく。

軒先イベント2023開催後に実施した「寄り合い」の様子。テーマは「軒先イベント公開反省会～実行委員による開催ウラ話～」。参加者は実行委員メンバー、当日の出展者に加えイベント参加者も。あえて運営側と参加者の線引きを曖昧にすることで、軒先イベントの第一回、第二回に出展者として参加した住人が運営側にまわるなど、地域の人たちが自分のコミュニティに関わるきっかけの場、仕組みとして機能。2024年は「外部講師派遣による、実行委員メンバーの勉強の機会創出とともに寄り合いに新たに参加してみたくなるようなきっかけづくり」又は「出展者等が自身の事業や活動に関わる内容で講師をすること」を検討・計画することで、参加者間の関係が深まるような運営につなげていく。



【今後の見通し案】2024年の活動を通じて認知度向上により関係者(参加・出展・運営)の裾野が広がることで、活動目的の実現につながる地域内の関係を広げるとともに、運営の自立(人員、資金面等)を模索していく。

令和6年 5月 31日

杉並区長 宛

代表者

氏名 中川 圭珣

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	いぐさの赤い椅子
事 業 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ <u>すてっぴコース</u> じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	まちの中に誰でも座って休める椅子を設置する活動。 まだまだ認知度が低く 設置への協力理解が得られないため、 子供向けワークショップを開催し、親子で赤い椅子を作ることで 赤い椅子の認知度を上げたい。
事業に要する総費用 予定額	¥70,000
助成金交付申請額	¥70,000
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。) (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書 (5) その他 ()

いぐさの赤い椅子・協力者名簿

	役割	氏名	
1	代表	中川 圭珣	
2	副代表	中川 三郎	
3	会計	小川 都	
4	監査	田口 里美	
5		行川 勉	
6		高田 いつみ	
7		中島 朋恵	
8		芝崎 妙子	
9		岸本 光一	
10		松井 トミ子	
11		笹谷 眞理子	
12		津田 糸美	
13		芦沢 久江	
14		山路 大輝	
15		今村 公介	
16		山口 勇	

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
杉並区まちづくり助成金	¥70,000
合計	¥70,000

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費			
(2) 広報活動費	案内チラシ印刷		¥8,000
(3) 事務運営・ 事業実施費	運送・管理代 組み立て式ベンチ@8,000×5 使い捨て袖付きエプロン 100 枚 使い捨て靴カバー 100 足	¥10,000 ¥40,000 ¥7,000 ¥5,000	¥10,000 ¥40,000 ¥7,000 ¥5,000
合 計			¥70,000

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
- 事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

活動内容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
<p>高齢者や子供連れ、誰もが外出先で気軽に休める椅子を地域に設置する活動です。家庭で不要になった椅子を譲り受け、赤く塗りなおし、設置に協力してくれるご自宅前や、店舗の前に設置をお願いしています。</p> <p>現在18か所に設置していますが、なかなか、敷地内に設置して頂く理解と協力が得にくく、設置状況も頭打ちになっています。</p> <p>今年は、今までの活動に加えて、赤い椅子の認知度を高めるためのプロモーションとして親子で赤い椅子作成にかかわってもらうワークショップを企画しています。子供からパパママ世代に認知されることを期待しています。</p>	
<p>活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）</p>	
時期	活動内容
令和6年4月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
5月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
6月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
7月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
8月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月） 下井草 こどもプラザ 親子ワークショップ 「赤い椅子を作ろう」
9月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
10月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月） ハロウィンウォーク協力（昨年同様 予定）
11月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月） 井草の森 プレイパーク 親子ワークショップ 「赤い椅子を作ろう」
12月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
令和7年1月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
2月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）
3月	月2回の定例作業 井草の森プレイパーク協力（1回/月）

令和6年度 まちづくり助成応募団体一覧

コース	団体名	事業内容	備考
すてつぷ	community plus	子連れで利用しやすい飲食店情報など、杉並区内の子育て世帯がもっと子育てを楽しめるように応援する地域密着型情報サイトの運営。善福寺川緑地・和田堀公園への地域コミュニティ拠点建設の機運の醸成に向けた利用者アンケートの実施及び地元の多世代・他団体と連携したイベントの企画運営。	4年びぎなー 5年すてつぷ 6年すてつぷ
	すぎなみ発見クラブ	杉並区民の健康意識を高め、病気や精神疾患の原因の一つである食と健康に関する啓蒙活動を行うため、健康食マップの作成、フリーペーパーの発行、料理教室の開催、映画上映会などを実施。杉並や日本の文化について、ワクワクするような情報発信や勉強会を開催。その他にも、メンバーが考える杉並区民の健康と明るい生活のための活動を様々な分野で行っていく。	5年びぎなー 6年すてつぷ
	軒先から、こんにちは実行委員会	住民参加型イベント「軒先から、こんにちはナリタヒガシ」とイベント開催に向けた住民参加型の「寄合い」の開催	5年びぎなー 6年すてつぷ
	いぐさの赤い椅子	まちの中に誰でも座って休める椅子を設置する活動。まだまだ認知度が低く、設置への協力理解が得られないため、子供向けワークショップを開催し、親子で赤い椅子を作ることで赤い椅子の認知度を上げていく。	5年びぎなー 6年すてつぷ
びぎなー	つながろう梅里堀ノ内の会	地域において多世代の人がつながりを持ち、居心地の良い居場所づくりを行うために定期的に地域イベントを企画、実施。	6年びぎなー
	IKAMO応援隊	地域の活性を目指し、地域でたのしめる場所の発掘および発表会を企画・運営する。地域の名所等の紹介およびイベント開催。	6年びぎなー